広報 いまかね

発行　今金町役場　　編集　企画室　　印刷　野宮印刷　　44.11.20発行



千歳あめを手にうれしそうな親子

貯蓄て生活に
安定を
むだな消費は
つつしもう

七五三の祝い

七五三は、11月15日に3歳（男 女）、5歳（男）、7歳（女）のこどもが氏神にお参りして成長を報告し今後のすこやかな成育を祈る行事です。

ことしは3日の文化の日に繰り上げて行なわれ、おりからの初雪にもめげず約50名の〝かわいこちゃん〟が母親とともに元気でお祈りしました。

44年11月
No.137

世帯と人口　世帯数 2,862　　人口 11,723（男5,709 女6,014）44.10.30現在 31

自治功労者に感謝状

文化の日 永年勤続町職員も表彰

文化の日の十一月三日、町では昭和四十四年度の感謝状と表彰状の贈呈式を役場会議室で行ないました。

式には、町議会議員、町職員など約百人が出席、町職員として二十年以上勤続した十八人に表彰状と記念品が贈られました。このあと曽我井議長のお祝いのことばに続き、受賞者を代表して石井助役、清水正義さんが「感激で胸がいっぱいです。これからも町のため微力を尽くします」とお礼を述べました。



町長から感謝状を受ける清水夫妻

受賞者は次のとおりです

▽感謝状贈呈

今金町農業協同組合（土地の寄贈により都市計画に貢献）清水正義、キン（長年地方自治と住民福祉のため貢献）田中千代吉（駅舎に時計を寄贈し明るい町づくりに貢献）河田義孝（青少年会館建設のため多額な資金を寄付）上村延太郎（開拓当初より郷土発展に貢献）西田丑蔵、松浦武雄（交通安全のため貢献）田中ミサオ（福祉活動、国民年金制度の普及に貢献）

▽勤続表彰（二十年以上勤続町職員）

戸沢定勝、石井俊夏、吉田辰雄、重村栄吉、飯田政市、中井誠司、亀谷文也、浜田邦男、石井政吉、稲垣武雄、久保田常次、小西宋春、有賀正夫、米世貞夫、宮谷吉治、古畑正雄、御良治、愛宕吉太郎

退町にあたって

清水正義

大正四年以来五十四年にわたり、町民のひとりとして今金町に居住させていただきましたが、今般家事の都合により函館に転住することになりました。この間私にお寄せいただいた町民の皆さんの厚志に対し衷心より感謝申し上げます。

私は昭和三十年校長を退職して以来、選挙管理委員長として常に明るく正しい選挙執行とその啓発につとめ行政相談員として行政の民主化を、社会福祉協議会長、連合部落町内会長として町民の幸せを高めるため最善の努力を尽くしたつもりですが、微力にして見るべき必果をあげ得ずして今金町を去ることを残念に思うとともに深く責任を感じています。

しかしながら今金町は、町長はじめ町民の皆さんのご努力により日に日に発展し、今や連合はおろか全道的にもまれにみる優良町となつていますことは、喜びにたえないところであります。ときにはむずかしい町だとかうるさい町だとか批判する声が耳に入りますが、それは真の姿を知らない人の声だと思います。

そこで私が町民の皆さんにお願いしたいことは、町民全体の幸せを高めるため町理事者議会、町民が一体となつて固く団結し、和の精神に徹し、対話を通じておたがいに理解と信頼を深め、思想も政党も利害も超越することによつて平和な町づくりにまい進していただきたいことです。

今金町が大きく飛躍することを祈念して退町のあいさつといたします。

今金小スタート デラックス校舎へ

今年度から六カ年計画で改築することに決まった今金小学校校舎の起工式は、十月九日建設現場で関係者約三十名が集まつて行なわれました

新校舎は、鉄筋コンクリート造り三階建て、総工費二億二千万円で、完成すると完全暖房、水洗便所など完備したデラックス校舎となります



クワ入れする町長

今回の工事は、第一期分四千六百万円で十教室など来年八月末完成の予定です

交通情報（今金町内）

1月1日より10月31日まで

事故の発生 17件 死亡 0人 負傷 26人

雪道でのスリップに注意を

降雪期に入るとスリップ事故がふえます。
車間距離を十分にとりましょう。



「保険税は高い」「よい薬は保険がきかない」などという声をよく聞きますがほんとうにそうなのかここであらためて国保事業の内容を知っていただくため皆さんとともに考えてみたいと思います。

医療制度の中心

国民健康保険は、勤め人などを対象とする被用者保険に加入していない一般住民を対象に、昭和三十二年五月から始まり、ことしで十三年目を迎えております

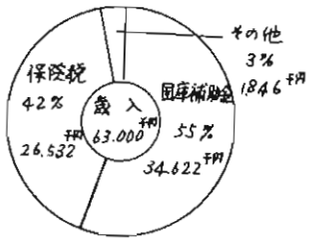
開始当時は、皆さんの負担する医療費が五割であつたものが四十一年から三割に軽減され、助産費が五百円から現在一万円に、葬祭費が五百円から二千円に増額されるなどいろいろな改善が行なわれており、医療制度の中心的役割をはたしております。

しかし、医療費は診療費の値上げや流行病の続発などのため年々増え続けており、今年度の予算は昨年の当初予算より十二%多い五千七百六十万九千円となつています。これを一世帯当りにしますと三万八千百五十一円、ひとり当り八千五百三十四円となります。

国保会計は、この医療費が九十一%を占め、あとの九%が助産費、事務費などに使われています。

国の補助が55%

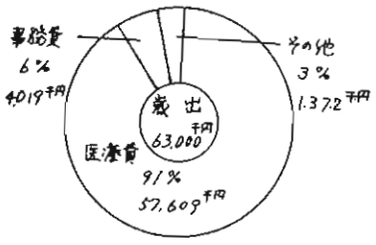
では、この財源の内訳はどうかというと、国の補助金が三千四百六十二万二千円と全体の五十五%を占めその他の三十七%、二千六百五十三万二千円が国民健康保険税として皆さんにお願いしているものです。この国保税は、昨年当初に比べ十・八%上昇し一世帯当り一万八千四百六十四円、ひとり当り四千百三十円程度の負担となります。



相互扶助の精神で

国保税は「相互扶助」の精神に基づいて公平に負担していただくことになつているため、医療費が高ければ高いほど皆さんの負担も大きくなるわけです。

いままで述べてきたことから最も注目しなければならないことは「ひとり当りの医療費がどうして高いのだろうか」ということですこれには、きめのある高い薬が健康保険でもどんどん使われるようになつたことや、病院にかかる回数が多くなつたことがあげられますが、むだな経費がかかつていることも見のがせません。



早期発見と早期治療

病気は早期発見、早期治療につとめ、こじらせて長い間通院をしないようにすることもたいせつです。また、自分の選んだ医師を信頼しないで、ひとつの病気であつちこつちと病院をかえるのもむだなことです。

被保険者の皆さんのひとりひとりが、むだな経費を節約しようという心がけが税負担を軽減することになり、健全な国保事業の運営にもつながります。



町のうごき

▽選挙管理委員長 辻理▽選挙管理委員 由幾幸作▽公害住宅建築委員 津島一良▽今金町連合町内会長 斎藤亮▽今金町連合婦人団体協議会長 原ミ子▽今金婦人会長 高田八重子▽今金婦人防火クラブ会長 内田とも

家庭でできる シイタケの不時栽培

まず手持ちのシイタケの「ホダ木」を水そうか小川を利用して二昼夜浸水します。水からあげて木口を木ずつのようなもので二、三回かるくたたきます。次に乾燥しないように風のあたらない暖かいところ（十五度前後）にムシロかビニールをかけておきます。（風呂場が最もよい）

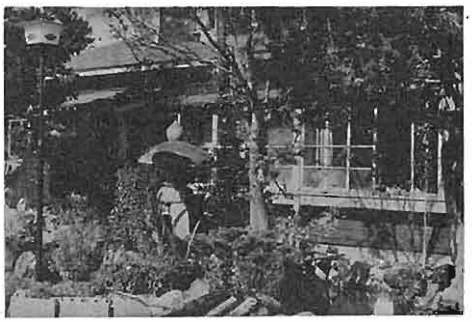
五日ぐらいたち芽が小指の頭ぐらいになつたら取りやすいようにタテにならべます。あとは乾燥しないように時々水をかけるとオーケーです。二、三本ずつ順次にやつていますと冬期間も常時生シイタケが食べられます。

採取が終つた「ホダ木」は雨があたらないようにビニールなどをかけて少々乾燥気味にして休ませ次に備えますいつまでも湿つたところに置くと菌はいつも動いていますから、採りたい時に水浸けしてもいつせいにでてきません。

春にたくさんとれた「ホダ木」で水浸けしても芽がでてこないのはこのようなことが原因しています。

にわ (5)

豊富な色彩と歴史
加藤五郎さん宅



えすがすがしい。

○…樹齢八十年のイチョウとシバ（埼玉産）がトドマツを背景に、昭和のはじめに作られたこの庭の歴史を物語る。

○…加藤さんは「前のあき地を利用してさくらを植え、公園にしたい」と意欲たっぷり。

○…オオシマイブキ（イワマツ）が見守る池では、オウゴン、コウハク、サンショクなど十二種類、約五十匹のニシキゴイが短い秋を惜しむかのように水しぶきをあげる。―終り―

○…目にしみるように紅葉したモミジ、緑濃いオンコ、白い石ドウロウ（今金産御影石）と、豊富な色彩が小春日和には



高年齢者にもう一度
国民年金受給のチャンス

国民年金は昭和三十六年から四十九歳以下の人を対象に始まりました。

これとともに高齢者にも年金受給を有利にしようと当時五十歳から五十五歳までの人に〝十年年金〟の道を開いていました。

しかし、制度の内容についてよく知らなかったため加入していない人が相当数おり、将来の年金受給に大きく影響を及ぼしています。

そこで、これらの人たちがもう一度国民年金に加入できるようにし、受給のチャンスを開こうと法律が改正されることになりました。

その内容は次のとおりです。

▽加入できる人
明治三十九年四月二日から明治四十四年四月一日までに生まれた人で、他のいずれの年金にも加入していなく、年金をうける資格を満たしていない人。

▽加入申し出期間
昭和四十五年一月一日から六月三十日まで。

▽保険料
月七百五十円で、加入した月から五年間納める。

▽年金額
納め終った翌月から年額三万円の老齢年金を支給。

▽加入の手続き
役場町民課年金係へ。

各種功労者（団体）に表彰状

▽消防功労者知事表彰
副分団長　奥原留治

▽統計功労者知事表彰
河島松五郎

▽北海道交通安全協会長表彰
松浦武雄

▽納税功労表彰
昭和町納税組合（檜山支庁長）旭町納税組合（道納税推進連動檜山支部長）今金町農業協同組合（八雲税務署長）開柳納税組合）八雲地区納税貯蓄組合連合会）

よろこび・かなしみ
（10月分）

⊙出生13名
稲船秀明（昭範・南町）
工藤和幸（和彰・住吉）
山本雅史（弘・東町）
丸山香織（恵敬・寒昇）
藤島庸子（忠・栄町）
吉村さおり（教尊・大和町）
木南真一郎（博明・新栄町）
菊谷恭尚（芳春・昭和町）
光谷泰雄（誠三・末広町）
川合ヒロ子（広・開運町）
石神浩之（秋男・末広町）
杉林正秀（正孝・寒昇）
岡林幸光（直義・昭和町）

⊙婚姻8組
岸忠重＝瀬山レイ子（寒昇）
湯浅翔雄＝松谷忍（今金）
久保田良治＝白井梅子（今金）津村時男＝長谷川アツ子（鈴金）川野茂＝久保玉子（今金）中川清＝広川麗子（稲穂）佐藤光也＝三浦教子（花石）伊藤修吏郎＝長田繁子（今金）

⊙死亡6名
荒井利次49（八幡町）高松卿良81（種川）荒川トク42（末広町）池野林弥76（南町）中島末議71（昭和町）黒須キク90（種川）



▼二等陸・海空士
応募資格　十七歳以上
初任給約　二万九百円

▼少年自衛官
応募資格　中学三年または高校一年
初任給約　一万八千円
いずれも衣食住無料、期末手当年間約四・五ヶ月分
詳細は役場町民課へ

11月の納税

国民健康保険税＜3期＞
個人事業税＜2期＞
12月1日まで